

# ガマヨトウ

*Archanara aerata* (Butler)

チョウ目ヤガ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

## 選定理由

低湿地に固有の種で産地が局限される。

## 形態

開張は37mm前後である。前翅は黄褐色ないし橙褐色で、中央部に翅基部から外縁に向かってはっきりした黒色条が認められる。後翅は一律に黄褐色である。

## 国内分布

中部地方以北から北海道まで広く分布する北方系の種である。生息地は平地の低湿地帯に限られるため、産地は点在している。日本の特産種である。

## 県内分布

現在、知られている産地は加賀市の柴山潟と片野鴨池、七尾市福浦の3箇所である。

## 生態

成虫は年1回、7月から8月に発生する。食草としてガマが知られ、幼虫は茎内にすんでいる。

## 生息地の条件

ガマをはじめとする抽水植物の多い平野部の広大な低湿地に生息する。

## 生存の危機

平野部の低湿地は埋め立てや護岸工事が進んでいる。生息地のひとつである柴山潟周囲のガマ群落は、埋め立てにより減少しつつある。(A)

## 特記事項

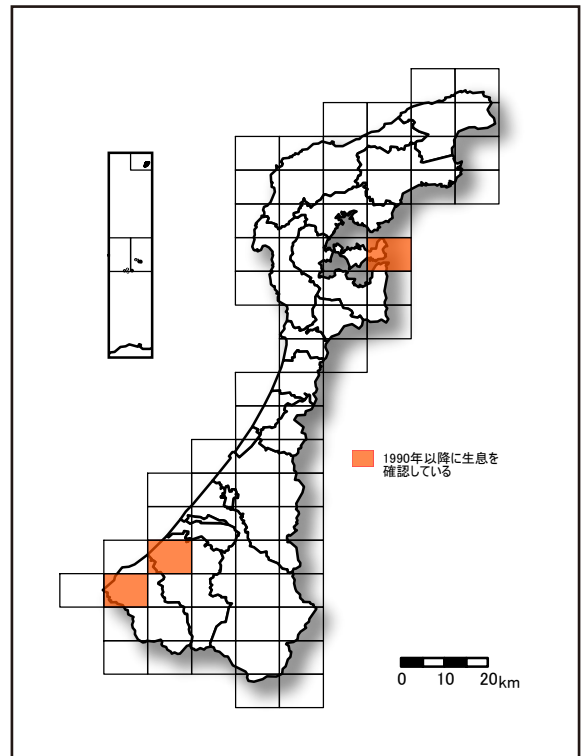
低湿地の環境指標種として位置づけられる。

## 参考文献

富沢 章 1987. 加賀市柴山潟の蛾類. 誘蛾燈, (109) : 87-97.



標本提供者: 富沢章



県内の分布